

生ごみの減量に

チャレンジ しましょう！

毎日の生活の中で捨てられる生ごみ。家庭から排出される可燃ごみのおおむね約40%が「生ごみ」ということを知っていますか？

「生ごみ」の70～80%は水分です。この水分が臭いや重さの原因となるため、水切りや生ごみ処理容器などで生ごみを減らしましょう。



生ごみ減量のポイント

① 食べ切り、使い切りで生ごみを出さない

余計な食材を買わない、食材を無駄なく使うエコ・クッキングなど食品ロスの削減。

② 水分が多いものはギュッと水切り

水気を吸いやすいシンク内にごみを溜めないことや水切りネットの活用など。

③ 生ごみのリサイクルなど家庭でチャレンジしてみましょう！

生ごみ処理容器やダンボールコンポストを活用し、堆肥にすることでリサイクルできます。

● 生ごみ処理機（電動）の補助額 〈購入金額の1/2〉
最大 15,000円/台

● 生ごみ堆肥化容器の補助額 〈購入金額の1/2〉
最大 3,000円/台

● ダンボールコンポストの負担金
新規 1,000円 継続 500円

土中の微生物で生ごみを分解処理する生ごみ処理器

「こうげキエーロ」の普及を進めます！

「こうげキエーロ」の普及に向け、現在準備を進めています。準備ができましたらお知らせします。

「キエーロ」とは 一般家庭において、日常生活上生じる調理くず、食べ残しなどの生ごみを、土、風、太陽光などの自然の力を利用して分解し、消滅または堆肥化する処理器です。黒土の中のバクテリアにより生ごみの分解を進めるもので中身がほぼ増えません。土に埋めることで臭いが抑えられるためハエが集まりにくいという利点があります。

キエーロ
試作品



ダンボールコンポスト 利用者の声

ダンボールコンポストを使った生ごみのリサイクルに取り組んでいます。できた堆肥は家庭菜園に活用してリサイクルしています。生ごみの量や臭いも減るので、ごみ出しが楽になり、環境への意識も高まりました。



キエーロの土は堆肥としても使用できます。その場合、使用した分の土を補充します。

新たなごみ処理施設の整備に向けて

新しいごみ処理施設の整備については、広報こうげ2月号において進捗状況をお知らせしましたが、令和8年4月1日に事業主体となる「中津上毛環境事務組合」が設立されました。

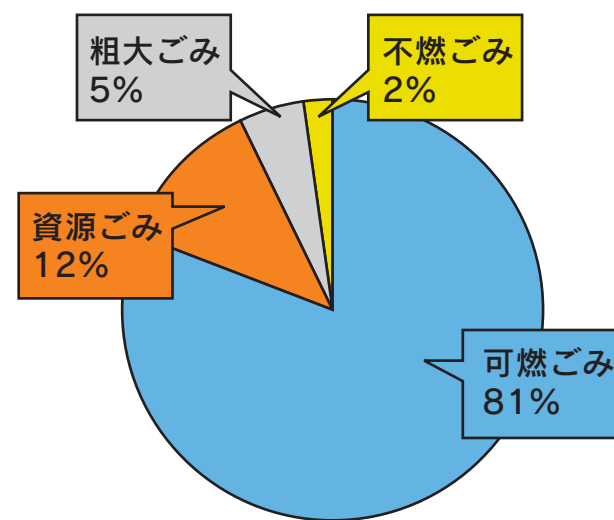
今後は、令和16年度の稼働開始を予定する新たなごみ処理施設の整備に向けて中津上毛環境事務組合が着実に事業を進めていくこととなります。

令和8年度には、新しいごみ処理施設の方向性や規模を決定するための基礎資料となる「一般廃棄物処理基本計画」※と「循環型社会推進地域計画」※を策定することとしています。

※「一般廃棄物処理基本計画」 一般廃棄物の減量化や資源化、適正処理を推進するための基本的な方針を示すもの
※「循環型社会推進地域計画」 計画対象地域（上毛町、中津市）におけるごみ処理の基本的事項のほか、整備する施設の種類や規模等の概要をまとめたもの

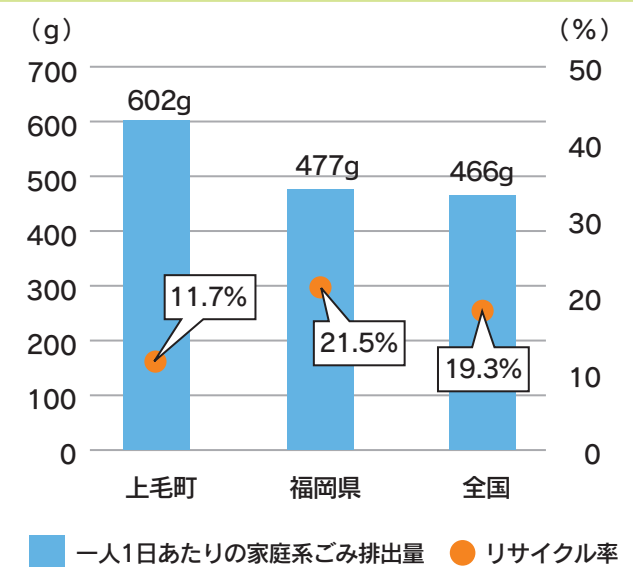
数字でみる上毛町のごみ事情

生活系ごみの割合（令和6年度）



- 生活系ごみ…可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ＋資源ごみ
- 事業系ごみ…会社など事業活動を通じて出たごみ
- リサイクル率…1年間のごみ総排出量のうちリサイクル（再資源化）された量の割合

1人1日あたりの家庭系ごみ排出量と リサイクル率（令和6年度）



● 家庭系ごみ…可燃ごみ＋不燃ごみ＋粗大ごみ



上毛町の家庭系ごみ1人1日当たりの排出量は、令和6年度実績として602gであり、福岡県より125g、全国平均より136g上回っています。

《 国（環境省）は 》

令和12年度に1人1日当たりの家庭系ごみ排出量の目標を約478gとしています。この目標値を達成するためには、約20%のごみ減量が必要です。町民の皆様のご協力をお願いします。

新しいごみ処理施設の整備やごみに関するご意見やご質問がございましたら住民課までご連絡ください。
問 住民課 住民福祉係 ☎ 72-3116(内線141)